

美術科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	既成のイメージにとられやすい。 表現に必要な技能が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートによる発想のトレーニング 用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示） 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	
第2学年	イメージを表すための表現技能（スケッチなど）が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> スケッチ 板書や演示の工夫 ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	
第3学年	自分のイメージを表現する思考が既習内容のみに偏ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 表現技能の習得（板書や演示） ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して
 1年 鑑賞活動の工夫 話し合い（個人、ペア）
 2年 鑑賞やイメージに相應しい表現の話し合い（グループ活動）
 3年 鑑賞やイメージに相應しい表現の話し合い（グループ活動）

■1人1台端末の活用に関連して
 全学年
 主に導入で活用を。それぞれの授業の流れ、課題について提示する。